

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

**実践事例** 中学部／教科別の指導：国語

**『課題に最後まで取り組み、物や数、動作の視点と、それらを表す言葉のつながりに着目して聞き取ろう』**

**1. 生徒の実態と望む姿**

- ・中学部2年生男子生徒
- ・教師に「消しゴムとえんぴつをふたつずつ持ってきて」と言われ、えんぴつを2本持ってくる。
- ・教師に「ハサミ2つと赤のペン3本を教室に持ってきて」と言われ、ハサミ1つ、赤のペン3本を教室に持ってくる。
- ・数字を聞いて具体物を数える際、具体物の数を多く揃えることが多い。(4以上)
- ・初めての活動に取りかかる際、教師の指示の後、動きが止まっていることがある。

そこで本題では以下の望む姿を設定した

- 日常生活でよく使う言い回し(～ずつ、ひとつ、ふたつ、みつ等の数え方など)でも、そろえられる。
- 自信を持って活動に取り組めるようになってほしい。

**2. 教材の概要 教材：『ふとくクエスト』**

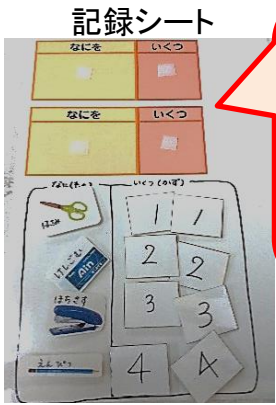
教師の指示を聞いて、指定された物・数をそろえることでモンスターを倒せる仕組みの教材

**3. 授業のポイント**

**ポイント1 続けて最後まで学習していくための工夫**

**【物・数の視点に着目して聞き、その通りにそろえられるためにはどうすればいいかな？】**

- ・物・数の組み合わせを、視覚的に提示・記録ができるカードを用いればよいのではないかな。



・視点に着目して聞き取れているか、自分で確かめられるよう、上部に「なにを・いくつ(物・数)」を文字で示した枠に、下部の写真カードと数字カードから、聞き取ったものを選んで貼るようにした。  
 ・生徒が聞いてすぐに操作ができるよう、カードを貼りつけていくようにした。

※思考の流れを障害しないように、カードを貼って記録する形式にした。



・記録シートで聞き取ったものを、机上で操作するために展開で使用した。  
 ・記録カードと併用し、「なにを・いくつ(物・数)」を聞き取ることができていたか、操作後に自分で確かめられるようにした。

**授業構想チェックシート 意欲チェック 学習活動について⑪⑫**

**ポイント2**

**「〇こずつ」と「〇こと〇こ」が同じであることを理解できるようにするための教師の働きかけの工夫**

**【「〇こずつ」と「〇こと〇こ」が同じであることが分かるようにするにはどうすればいいかな？】**

- ・具体物を使って、「〇こずつ」と「〇こと〇こ」が同じであることと確かめるとよいのではないかな。
- ・確認の際、「記録シート」のなにを・いくつ(物・数)を示しながら、「〇こずつ」と「〇こと〇こ」が同じであることを押さえるようにするとよいのではないかな。



例：「はさみとえんぴつを、3つずつ」のとき確認の仕方：「はさみとえんぴつを3つずつは、はさみが3つとえんぴつが3つ。3つずつは、3と3で、同じ数だね。」

※上記のようなことばかけと同時に、指で記録シートの具体例を示し、物と数を確認する。

繰り返すと、〇こ(つ)ずつは、〇こと〇こで同じ数になることが定着していき、教師の指示を聞いてすぐにカードを動かせるようになった。

**授業構想チェックシート 意欲チェック 教師の働きかけについて⑪⑫**